



# 第2回合同WG提案内容についての結果報告

2019年10月9日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

# 1. 第2回合同WG結果報告

第2回合同WGでの意見・要望は下記の通り。なお、「GW配下用パッケージソフトの廃止」に関しては意見等はありませんでした。

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;管理統計資料の見直し&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 税関に出力される誤謬表を民間側にも管理統計資料として出して欲しい。さらに申告番号等も項目追加を検討して頂きたい。</li><li>2. 管理統計資料の自動取得機能の留意点に「ログオンの必要」とあるが、人が居ない時に起動しておくことに違和感があるほか、当社の場合には21時になると全端末自動的に一旦シャットダウンされる。シャットダウンされた状態でも自動取得が可能な案を検討頂きたい。</li><li>3. 自動で取得出来るのは、保税蔵置場の保税台帳も含まれているか。</li><li>4. 「保税管理資料保存サービス」を利用しているが、サービス対象管理資料以外の管理資料についても、対象を増やして欲しい。</li><li>5. 他法令申請の一覧データ等は、第7次NACCSの前でも提供出来るのであれば、早目に提供して頂きたい。</li><li>6. 輸入申告一覧データに他法令の欄を追加し、明細簿として利用しやすくなるという意見があった。海上の輸出入通関の明細簿の中にも品名が必要となるので、追加対象として検討して欲しい。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ご意見として承りました。税関に出力されている管理統計資料となるので、今後、税関と調整させて頂く。また、必要な項目についても検討させて頂く。</li><li>2. 現状の仕様で考えると、予め設定した対象管理統計資料の配信タイミングで自動的に保存されるのが現時点での案である。根本的に管理資料取得の仕様を変えないとシャットダウンされた状態で自動取得するのは難しいと考える。今後、ご意見を聞きながら検討させて頂く。</li><li>3. 現在、配信している管理統計資料全てを対象として考えている。</li><li>4. ご意見として承りました。</li><li>5. 単年度のプログラム変更で要望頂いている。単年度での検討で、影響等を含めて第6次NACCS中か第7次NACCSでやるのか整理したい。</li><li>6. ご意見として承りました。</li></ol>
<p>&lt;ユーザーインターフェースの見直し&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 5、6年後に導入されるユーザーインターフェースの検討は、今後のWGで意見を出して進めていくのか。色々と意見が出る案件なので、ヒアリングの場等を取って頂きたい。また、時間的余裕も欲しい。</li><li>2. RPAを活用する上で、画面認識が相当大的な部分を占める。画面が変わる場合は事前にテストが出来る環境を早期に提供して頂きたい。</li><li>3. 課題対応案「2.コード検索機能」は良いと考える。「4.業務仕様書等へのリンクの追加」は、入力項目表が良いと考える。</li><li>4. システムに詳しくない者がエラー内容を見た時に、どの様なエラーでどう対処してよいか分からない表現があるので改善を検討して欲しい。</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ご認識のとおりである。この後の議題のプログラム変更にも同様の要望があり、ご意見を聞く時間はあると考えている。今後、意見交換会等を行い、ご意見を聞いていきたい。</li><li>2. 慎重に検討を進めたい。仮に画面等が大きく変更する場合、開発にも時間を要することから、早めに提供出来る様に進めていきたい。</li><li>3. 業務リンクについては、入力項目表が便利というご意見であれば、パッケージソフト等の影響を考慮しながら、検討させて頂く。</li><li>4. エラー内容から対処方法が分かりづらいと認識している。このエラーコードのエラー内容を見直して欲しい等の具体的なご意見があればお聞かせ頂きたいと考えている。</li></ol>

# 1. 第2回合同WG結果報告

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;モバイル端末への対応&gt;</p> <p>1. モバイル端末はどこでも使えるが、業務対象範囲は、通関業法上、通関営業所でなければ出来ない業務は対象外と考えてよいか。</p> <p>2. 航空保税上屋の搬入、搬出業務、CDB業務等の業務をパッケージソフト端末で行っている。モバイル端末対応で蔵置場の中いながら、貨物の確認等が出来る。可能であればぜひ取り込んで欲しい。また、利用料金は、使用した分だけが課金される料金体系になるか教えて欲しい。</p> <p>3. 5、6年先にスマホが廃れて新しい機器が出てくるかもしれない中で、今、既存のモバイル端末でWebNACCSのみを対応して開発に取り組むというのは如何なのか。開発には時間が掛かるので間違っていないと思うが、新たな機器が出てきても対応出来る様にアクセス可能とし、機能そのものは全部動かせるという様な考え方の取り組みも一つかと考える。</p> <p>4. モバイル端末はOSの制約がないと考えてよいか。</p>	<p>1. 現時点で実施場所が限定されている業務については、対象外の想定である。まずはWebNACCS対象業務を中心に進め、今後、皆様のご意見を聞きながら対象範囲を検討していきたいと考えている。</p> <p>2. ご意見として承りました。航空関係業務も検討対象の一つとして進めていきたい。料金は、まだ先の話になるが、基本的にはパッケージソフト利用時と同じ考えになると想定している。</p> <p>3. まず、基本仕様ではWebNACCSで提供している業務を対象として、取り纏めを行っていく方針である。今後、皆様のご意見を聞きながら対象範囲は検討していきたいと考えている。</p> <p>4. 現時点で詳細は決定していないため、明確な回答は出来ないが、提供方法によっては、OSに依存することも想定されることから、今後詳細検討の場にて検討していきたいと考えている。</p>
<p>&lt;デジタル証明書の見直し&gt;</p> <p>今年7月に「使っていないデジタル証明書を多く持たない様に」と周知されたが、再発行が最低1営業日を要するため、休日夜間等含め急な必要時に取得が出来ない。再発行だけでなく新規取得するところも最新技術を使う等、迅速な発行が出来る仕組みを検討して頂きたい。</p>	<p>課題として認識している。端末の追加等、現在では最短で4日程度で対応出来る見直しを行った。第7次NACCSでも出来る限り早期に行える仕組みを検討したい。</p>
<p>&lt;GW配下用パッケージソフトの廃止&gt;</p> <p>意見等なし</p>	
<p>&lt;EXC(非同期)型対象電文の見直し&gt;</p> <p>可能な限りEXZ電文に置き換える様に見受けられるが、EXC電文として残さざるを得ない業務は何を想定しているか。</p>	<p>「2.電文の出力先（戻り先）の概要」に記載のとおり、例えば、RSS01業務を行った際に、ターミナルへ出力される帳票はEXC電文でしか出力出来ないが、回答は送信した端末にも返すことが出来る様にするという提案となる。</p>

# 1. 第2回合同WG結果報告

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;最新技術の実用性&gt;</p> <p>1. 入力補助について、例えば品名からHSコードの候補の提示等、提案型があると助かる。パッケージソフトだけでなく、自社システム利用者も利用出来る様にして頂きたい。</p> <p>2. 資料に記載されている入力補助機能、誤入力防止機能、誤送信抑制機能というのは具体的にはどういうものを想定しているのか。</p> <p>3. 入力補助機能、誤入力防止機能の提供は入力効率化となる。例えば、過去の申告で申告後変更があった等を表示させる機能は、データの蓄積がなくても出来るのではないかと。全般的に第6次NACCSの機能の充実、拡充が中心だが、新技術の導入は第7次NACCSの目玉になることから、強く取り組み、機能の拡充を検討して頂きたい。</p> <p>4. RPAについては利用者側で開発となるが、パッケージソフトの作り方に配慮して欲しい。例えば、画面の解像度等の違いにより、端末によっては動作しないことがあるため、全部キーボードで操作出来る様な仕様で提供頂けると、非常に使いやすくなるので検討頂きたい。</p> <p>5. AIやRPAの導入によって、一度問合せしたものを記録し、自動的にデータを返す対応を検討して欲しい。例えば、IAW業務で貨物の突合が取れたことを確認出来るまで何度も照会している状況を回避するためにも、導入を検討して頂きたい。なお、利用者もコスト面においても削減する必要があるため、協力頂けると助かる。</p> <p>6. API連携について、他システムとの連携が、「最新技術の実用性」の一項目に止まっているのはどうかと思う。APIでインターフェースを作るという方針だけではなく、他のプラットフォームと繋いだ運用の面でもトータルとして利便性の高いものになる仕様を検討して頂きたい。</p> <p>7. データの蓄積について、ぜひ進めて頂きたい。蓄積データがあれば必要なものを取得出来る。クラウドサービスであればパソコンを閉じて問題ないし、いつでもデータが取れる様になると思うので、検討を進めて頂きたい。</p>	<p>1. ご意見として承りました。</p> <p>2. データが蓄積されていくと、規則から外れたものに関する注意喚起や、複数項目の関連性から別項目の候補値出力等を検討出来たらと考えている。しかし、データの蓄積についての課題があると考えている。</p> <p>3. ご意見として承りました。</p> <p>4. ご意見として承りました。RPAに対応する場合には、ご指摘頂いた点について配慮し、画面構成を大きく変更しない等、慎重に検討していきたいと考えている。</p> <p>5. AIでの対応となると情報を蓄積していくことになるが、情報の蓄積量により精度が変わる。提案予定の「貨物状況通知サービス」が要望に対応する実現方法であると考えている。尚、AIは何かを学習させてその経験値に応じた判断が出来るという所に大きな利点があるので、ご提案とはスコープが違うと考える。いずれにしてもご意見として承りました。</p> <p>6. ご意見として承りました。前回提案しているnetNACCSのAPI公開を含めて、今後、検討させて頂く。</p> <p>7. ご意見として承りました。頂いたご意見を踏まえて今後、検討させて頂く。</p>

# 1. 第2回合同WG結果報告

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;システム制限値の見直し&gt; 第6次NACCS仕様検討時にも要望したが、NVC01業務において1件で取り扱えるハウスB/Lの件数拡大を、システムの影響が大きいため、対応して頂けなかった。繰り返し入力が負担となることから、過去に要望している上限値99件を継続して検討して頂きたい。</p>	<p>ご意見として承りました。</p>
<p>&lt;貨物状況通知サービスの提供&gt; 1. 通知先が事前登録ということだが、複数箇所設定出来る様な形にして頂きたい。</p> <p>2. 非NACCS利用者向けモバイルアプリ版は、トラック業者の利用を想定されているが、課金されるのかが大事なポイントだと思う</p> <p>3. B/L番号を知っていれば誰でも情報を見れるのは如何かなと思う。セキュリティや情報公開をどの様に行う方針かお聞きしたい。例えば、許可が切れた貨物とか、搬出される貨物とかという情報について公開対象の観点をどこまで制限を設けるのか。</p> <p>4. スマホのアプリはデジタル証明書等を前提に考えるのか。末端の業者が使う際には、モバイル等であっても、セキュリティが大事である。例えば、デジタル証明書を発行することによって、この人が照会出来るという様になるのか。</p> <p>5. 航空会社にとってもメリットがあるので、ぜひ進めて頂きたい。空港でのペーパーレス化を進めているので、トラック会社の方もQRコード等で書類を持たずに出来る様になれば、もっと早くなるのではないか。</p> <p>6. B/L番号だと輸入でしか使えない。輸出管理番号等、複数の条件でデータが取れる様な形にして欲しい。</p> <p>7. この様なサービスは助かるが、気になるのは料金である。例えば、IAWより大幅に料金が高いと、通知サービスが使われない可能性がある。実際、料金的に照会業務よりも高く設定されるのか。</p>	<p>1. ご意見として承りました。頂いたご意見を踏まえて今後、検討させて頂く。</p> <p>2. アプリ等での提供を想定している。料金等については仕様が明確になった後に検討することになることから、現時点ではお答え出来る状況にはありません。</p> <p>3. セキュリティーが担保出来るということを前提としている。NACCSの照会業務は、利用契約の上で一定の照会権限がある。スマホのアプリ版の提案は、NACCS参加業種でない陸運業者など非利用者として、通常のサービスとは違うアプリ等、何かしらの利用規約同意の上でご利用頂く。情報公開をする対象は慎重に検討し提供する必要がある。詳細については、今後詳細検討の場にて検討していきたいと考えている。</p> <p>4. NACCSが使われていない非利用者向けのサービスのため、通常の利用契約ではないことからデジタル証明書等の認証方法とは別の認証方法という考えとなる。</p> <p>5. ご意見として承りました。詳細については、今後詳細検討の場で検討させて頂く。</p> <p>6. ご意見として承りました。詳細については、今後詳細検討の場で検討させて頂く。</p> <p>7. 利用料金については、今後システムの全体像が明確になった後に検討されることから、現時点ではお答え出来る状況にはありません。頂いたご意見を踏まえて今後、検討させて頂く。</p>

# 1. 第2回合同WG結果報告

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;システム対象業務の見直し&gt;</p> <p>1. 8月末で2020年度のプログラム変更要望が締め切られた。本資料には含まれていないが、今後追加予定か。また、資料11別紙について、要望元の項目もあると助かる。</p> <p>2. 資料11別紙の172件は、事前の意見交換をした内容は全て含まれているという理解で良いか。</p> <p>3. 「現行での検討結果」欄は、プログラム変更要望を出した時に判断された内容だと思うが、「備考」欄に書いてあるコメントは、対応案ということか。</p> <p>4. 費用対効果が見込めないのに、実施しないという検討結果が書いてあり、備考欄がないのは、望みが薄いということか。</p> <p>5. ここにある利用者から提出した項目については、もう一度見てどうしても依頼したいということであれば、検討するということか。</p>	<p>1. 8月末までに頂いた要望については、現在、精査中である。第6次NACCSで対応出来るものは、第6次NACCSで検討する。第6次NACCSで対応が難しいものについては、随時、追加予定である。資料の提供方法は、現状NACCS掲示板でプログラム変更の検討結果について、要望元の公表はしていない。各関係業界団体から提出された要望の検討結果について個別に業界団体へ要望元を開示した資料をお渡ししている。</p> <p>2. ご認識のとおりである。</p> <p>3. 現行での検討結果の欄は、ご認識のとおりで、単年度プログラム変更の精査結果となる。備考欄は、事務局側で確認した対応案となり、参考として要望内容とは別の解決内容等を備考欄に記載させて頂いている。</p> <p>4. 実現の可能性がないということではない。コストや利便性向上につながるか等を慎重に検討を進めたい。</p> <p>5. ご認識のとおりである。なお、検討していく中で、影響やコスト面から実現が難しい等の結果となることもご理解ください。資料11別紙については、過去2年間分の取り纏めをして、各関係業界様と意見交換を行い、実現の要請が強い最終的に残った172件となる。</p>

# 1. 第2回合同WG結果報告

意見・要望	検討内容（回答）
<p>&lt;その他&gt; 現状の輸出入申告においては、法人番号で行っている。これに伴って、JASTPROコード等の輸出入者符号と紐付けを行っているが、輸出入者符号を持たない法人番号のみの会社では英字社名等が補完されない状況である。今後、JASTPROコード等の輸出入者符号を併用して運用していくのか、一本化して法人番号だけでいくのかということを知りたい。弊社の社内システムは、現状では輸出入者符号をメインにシステムを構築しているが、今後は法人番号だけで統一するのであれば、それに伴ったシステムを構築しようと思っている。今後の方針が決まっていれば、教えて頂きたい。</p>	<p>法人番号の検討については、今後の税関との調整の上、WGの中で提示させて頂く予定である。</p>

※WG等の議事要旨は、「NACCSホームページ」にて公表をさせていただいております。



NACCSセンターホームページ：  
[https://www.naccs.jp/archives/7g\\_naccs/senmon/index.html](https://www.naccs.jp/archives/7g_naccs/senmon/index.html)

# 1. 第2回合同WG結果報告

## 【WG後のご意見・要望①】

項番	議題	項目	意見・要望	検討内容（回答）
1	管理統計資料の見直し		現在の誤謬表は少額がカウントされていないので少額分も入れてほしい。	ご意見として承りました。
2	ユーザーインターフェースの見直し	コード検索機能	コード検索機能について、例えば宛先官署が大阪の場合、1A（東京税関本関）等全部出てくると選びにくくなる。初めに選択等ができないか。	ご意見として承りました。
3	最新技術の実用性	ビッグデータの蓄積・解析	データの蓄積には時間が必要であり、7次NACCS運用開始時に十分なデータをもって運用が開始できるように、中期更改時のDBの拡張などを実施できるスケジュールで本項目の取り扱いを早期に取りまとめたほうが良いのではないかと考えますが、お考えをお示ください。	本件の対応可否につきましては、今後検討を進めて参りたいと存じます。具体的な対応案がお示し出来るタイミングで、改めてご案内申し上げます。
4	最新技術の実用性		サイバーポート検討WGで進められている港湾電子化プラットフォームの立ち上げ時期は、第7次NACCSのリリースより早いので、7次の仕様検討と同期しないで港湾PFと現状NACCSとのデータ送受信を技術面・運用面で実現する方法を検討しなければならなくなる、と想定しています。我々荷主にとってケースによってシステムを使い分ける、あるプロセスをやり通すために複数のシステムが必要、となるのは望んでおりません。周辺システム開発関係者との連携を密にして、検討が必要なタイミングで行われますよう、よろしくお願いたします。	ご意見として承りました。
5	システム制限値の見直し	AMAKKA	項番7,8の修正/更正請求については事項登録後も税関とのやり取りの中で長期になることがよくある。もう少し延長して欲しい。	ご意見として承りました。
6	システム制限値の見直し	DDC	業務コードDCC(内国貨物運送申告)において、コンテナ個数が60本毎に項目が分かれている。現状、数百本単位での運送もあるため、コンテナ個数200本にして欲しい。	ご意見として承りました。
7	システム対象業務の見直し		次期詳細仕様検討に際して7次NACCSのあり方アンケートでの回答内容も検討の俎上に載せるのか	アンケートの際頂戴したご回答につきましても、基本的に今回の検討内容に反映させて頂いております。また、WGでの提案内容についても、「システム対象業務の見直し」の中で、今後検討して参りたいと思います。



# 1. 第2回合同WG結果報告

## 【WG後のご意見・要望②】

項番	議題	項目	意見・要望	検討内容（回答）
8	システム対象業務の見直し		輸入別送品申告のNACCS業務化、及び電子化（輸入者との原本のやり取り、税関への原本提出の電子化を含む）を要望しているが前回提示されたリストにはヒアリングでの結果が反映されていないように見受けられるので是非検討課題としていただきたい	ご意見として承りました。
9	システム対象業務の見直し	MFR	MFR業務でのHS CODEの入力必須化 (理由)植物防疫法における植物検疫対象貨物の判別が容易になると考えるため。尚、出港前報告（AMR）時には必須入力のため、船社側の負担は少ないと考えられる。	ご意見として承りました。
10	システム対象業務の見直し	CDN01	DMF後はリスク分析結果事前通知情報を取卸CYへも通知されるようにして頂きたい。 (理由)蔵置場所として事前通知発生貨物の把握が容易になると考えるため。	ご意見として承りました。
11	システム対象業務の見直し	DOR	DOR送信時、通知先は必須入力ではないが、入力しない / 入力間違いの際に蔵置場所へ通知されないため、貨物管理番号ごとの蔵置場所へ通知されるようにして頂きたい。 (理由)通知先入力の間違いが非常に多いため。	ご意見として承りました。
12	システム対象業務の見直し		輸出ブッキングでSOC扱いの場合、輸出CY搬出対査、ならびに積コンテナリスト提出にあたり、コンテナを含めた輸出申告かどうか海貨等に都度確認している。輸出申告において、貨物にコンテナを含めた容器通関がなされた場合、出力情報SAE4081(輸出許可情報)等に、識別フラグを付与してほしい。 (理由)現状、システムでの判別ができないため。	ご意見として承りました。
13	システム対象業務の見直し		輸出貨物において、倉主責任のもと、CYで書類対査(ACL情報と輸出許可情報の照合)を行っているため、NACCS内部で当該照合を行い合致した結果のみを配信してほしい。船積可能のフラグのみが理想。また合致しない場合は、NACCSより海貨等にエラー通知を配信してもらいたい。 (理由)NACCS内部にACL情報と輸出許可情報が存在しているにも関わらず、マンパワーで行っており、非効率である。については、「最新技術の利用による利便性の向上」に繋げたい。	ご意見として承りました。
14	システム対象業務の見直し	VAN	プロ変要望継続案件となっているVAN業務でコンテナ1本に対して101件以上の輸出管理番号登録を可能にして欲しい件については、早急に対応して頂きたい。	ご意見として承りました。 中年度更改時など第6次NACCS中での実施可否も含めて継続検討しております。

# 1. 第2回合同WG結果報告

## -WGの提案議題の結果-

NO	WG	議題	結果	
1	第1回	業務仕様の考え方	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
2	第1回	オンライン業務の統廃合	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
3	第1回	WebNACCS対象業務の拡大	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
4	第1回	インターネット経由の新たな自社システム接続方式	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
5	第1回	メール処理方式の廃止	メール処理方式の提供の継続について検討させていただきます。	△
6	第1回	国際連携機能と各種デジタルプラットフォーム連携について	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
7	第2回	管理統計資料の見直し	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
8	第2回	ユーザーインターフェースの改善	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
9	第2回	モバイル端末への対応	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
10	第2回	デジタル証明書の見直し	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
11	第2回	GW配下用パッケージソフトの廃止	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
12	第2回	EXC(非同期)対象電文の見直し	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
13	第2回	最新技術の実用性	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
14	第2回	システム制限値の見直し	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
15	第2回	貨物状況通知サービスの提供	ご意見を勘案しつつ、提案の通り、進めさせていただきます。	○
16	第2回	システム対象業務の見直し		